

料金別納郵便



四想志陶 松谷 | 西田 | 仲岡 | 清水 文生 | 宣生 | 信人 | 剛

平成29年11月12日(日)~18日(土) 会期中無休
開廊時間：午前11時~午後7時 (最終日18日は午後5時まで)
作家在廊日：松谷・仲岡・清水 会期中、全日在廊予定

■お呈茶のご案内

会期中、栗のお菓子「丹波三昧」と薄茶一服を差し上げますので、どうぞお出かけ下さいませ。

敬愛する松谷文生さんから、「茶碗」を共通テーマとした四人展のお話を頂いたのは二年前でした。四国と丹波で活躍するその四人の若き陶工は、弊廊にてお世話になっている新進気鋭の方々でしたし、何より、その作品を私が好んでいたのも、是非にとお受けした事が昨日の様に思い出されます。

今展はタイトルを「四想志陶」とし、陶を志す四人の想いを込めた最新作を発表します。

松谷文生さんは、愛媛県の砥部で作陶され、茶褐色の無数の筋目を入れた独特の質感と伸びやかな造形を持つ「黎器」で、昨今の公募展で入賞・入選を繰り返しています。

西田宣生さんは、高知空港近くに窯を持ち、白磁に、躍動する綺麗な青や墨色の文様を描いた作品「碧」が人気ですが、最近、白磁にシノギ削りを入れた白色だけの新作に挑まれています。この変化は、近年動まれているお茶の稽古の影響でしょうか。

仲岡信人さんは、兵庫県の丹波で活動され、青く美しい釉調の作品を生み出しています。小品から大作まで、一見して仲岡作品と分かる独特の存在感魅力を放っています。

清水剛さんも、丹波に窯を持ち、深い群青色をした作品を中心に発表してきましたが、今展には、これまでの作品とは趣の異なる一風ある素敵な茶碗を送って下さいました。

会期中、四人が作った茶道具を用いたお呈茶も致します。霜月の一時、どうぞ若き陶工にご遠慮なく厳しいご指導を頂ければ幸いです。

店主 安田 尚史

柿谷ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

〒160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
TEL.03-3352-5118 mail : gallery@kakiden.com
http://www.kakiden.com/gallery





松谷 文生

Matsutani Fumio

昭和50年 愛媛県伊予郡砥部町に生まれる
 平成8年 嵯峨美術短期大学陶芸家卒業(現 京都嵯峨芸術大学)、日本芸術院会員 井政之先生、眞正先生に師事
 平成19年 独立、砥部にて作陶を始める
 平成22年 田部美術館大賞「茶の湯の造形展」奨励賞
 平成25年 菊池ビエンナーレ 奨励賞
 神戸ビエンナーレ 2013
 現代陶芸コンペティション 大賞
 平成29年 田部美術館大賞「茶の湯の造形展」優秀賞

藜茶器 φ7.5×H7.2 cm
 皓蓋置 φ5.3×H3.6 cm
 藜蓋置 φ5.8×H3.8 cm



西田 宣生

Nishida Nobuo

昭和50年 高知県に生まれる
 平成12年 倉敷芸術大学工芸学科陶芸コース卒業
 平成13年 京都市工業試験場陶磁器コース本科修了
 平成16年 高知県南国市にて独立
 平成21年 菊池ビエンナーレ展優秀賞
 平成25年 現代茶陶展 TOKI 織部大賞
 日本陶芸展特別賞 TOTO賞
 平成27年 田部美術館大賞「茶の湯の造形展」大賞
 平成29年 田部美術館大賞「茶の湯の造形展」奨励賞

白磁縞鉢
 φ29.0×H17.2 cm



仲岡 信人

Nakaoka Nobuhito

昭和52年 大阪府に生まれる
 平成8年 高等学校卒業後、丹波焼作家 西端 正氏に師事
 平成13年 京都市工業試験場 陶磁器科 修業
 平成18年 篠山市立杭にて独立
 平成25年 田部美術館大賞 茶の湯の造形展 優秀賞
 神戸ビエンナーレ 2013
 現代陶芸コンペティション 準グランプリ
 現在形の陶芸 秋大賞展Ⅲ 佳作
 平成29年 現代茶陶展 入選

彩色灰釉茶盃
 φ11.7×H9.4 cm



清水 剛

Shimizu Takeshi

昭和50年 兵庫県丹波立杭に生まれる
 平成11年 京都市立芸術大学 工芸科 卒業
 陶芸家 今井政之・眞正氏に師事
 兵庫陶芸美術館に勤務(～24年)
 平成17年 神戸ビエンナーレ 2009 現代陶芸展 奨励賞
 平成21年 現在形の陶芸 秋大賞展 2010 佳作
 平成22年 神戸ビエンナーレ 2011 現代陶芸展 奨励賞
 平成23年 日本陶芸展 入選(25年入選)
 平成28年 日・韓学術シンポジウムにて講演
 (金海粉青陶瓷館 / 韓国)

刻紋銀彩茶盃
 φ12.2×H8.2 cm